

公益社団法人群馬県医師会

vol. 2

保育サポーターバンク通信



高崎市医師会 理事
医療法人社団醫光会
駒井病院 理事長
駒井 和子

Message

支えられての子育て

子育ての時間は不思議な時間である。成人した子ども達の傍らで、もう一度あの時間を取り戻したいと思う。その時は何と大変なことと思っただが、今は只々懐かしい。たくさんの方々に支えられた時間でもあった。

第一子の誕生は昭和45年、仕事を続けたかったが、実家の母は病弱であった。同居していた夫の母も関節リウマチでその痛みで悩んでいた。それでも仕事を続けたがっている嫁の気持ちを察し、曲った指でおむつを替えようと奮闘していた。保育所などは期待すべくもなかった。葛藤しつつも子の笑顔にこのまま当分母親業か……。しかし窮すれば通じる。同僚が「保育ママ」を探してきてくれた。預かっていた子どもさんが成長し手が空いたということであった。翌年に生まれた長女も託した。人の親になった子らは大胡町に住んでいたそのご夫妻を今も大胡ママ・大胡パパと呼んで慕っている。夫婦に支えられてほとんど休むことなく仕事は続けられた。8年置いて次男、次女が生まれた頃、幼い子を追いかけるにはご夫妻は年を取り過ぎていた。それでも拾ってくれる神はいた。病弱だった実母も段々元気になり、年の離れた上の子ども達もそれなりに頼りになった。保育園も何力所か利用でき、本当に困った時はご近所にお世話になった。育児期間は長かったが、子どもらを社会に送り出すことが出来たのは多くの方々の支えのお蔭である。

女性の感性を、また子を生き育てるといふ女性の特性を生かしうる職種として、医学の発展や多様化によって、医師という仕事の女性の適正はさらに広がっているように思います。しかし子育ての悩みは、今も変わらぬ大きな問題です。サポートしてくれるシステムが作られていくことは本当に素晴らしく、心強いことです。保育サポーターバンクのますますの充実、発展をお祈りするとともに応援していきたいと思ひます。

I N F O R M A T I O N

■活動報告

月日	場所	内容
2015年5月17日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	日本女医会第60回定時総会公開講演会にて 保育サポーターバンク制度の成果発表
2015年7月12日(日)		
2015年8月30日(日)	群馬県医師会 セミナー室	保育サポーター研修会
2016年3月6日(日)		
2016年3月10日(木)	高崎市市民活動センター・ソシアス	保育サポーター意見交換会

■助成制度の紹介

- 1. 子育て支援助成制度**
利用医師に利用料金の一部を助成します。
- 2. チャイルド(ジュニア)シートの貸与**
保育サポーターにチャイルド(ジュニア)シートを貸与します。
- 3. インフルエンザ予防接種料金の助成**
保育サポーターにインフルエンザ予防接種料金の一部を助成します。
- 4. 緊急時のタクシー料金助成**
サポート中に緊急でタクシーを利用した場合に料金を助成します。

■保育サポーターバンク登録人数(2016年4月末日現在)
医師/106名 保育サポーター/142名

■保育サポーターバンク利用状況(2016年3月)
利用医師/34人 総利用時間/1349時間

保育サポーター
募集中

県医師会では、引き続き保育サポーターを募集しています。みなさまのお知り合いにお声かけを是非よろしくお願ひします。詳細はお問い合わせください。

利用医師の声



2011年6月頃でしょうか。長男4歳、次男2歳、私は大学院生、夫は勤務医で月の3分の1は不在、親は2時間以上の距離で仕事も有る状況でした。私が夕方から始まるカンファランスに出席しなかったのと、実験内容によって帰りが遅くなる事があり、サポーターのIさんに週1回～数回で二人のお迎え&夕食のサポートをお願いし始めました。始めは子どもが余り話さない様でしたが、次第に「僕たちには3人のばーちゃんがいる!」と言う程になり、いつもIさんの日を楽しみにしていました。子ども達にとっても、ゆっくり夕食を取って、一緒に遊んでもらって、ゆっくり時間が流れる日となっていました。お蔭で私も夫も安心して子どもを預けられ、夕食準備の心配も無く、安心して仕事が出来ました。

これまで、子どもおよび私の体調不良時、学級閉鎖の日、登校2時間遅れの日、夜の勉強会・研究会や遠方の学会への参加時、土曜勤務日、子どもの習い事の送迎など、本当に多くのサポートをして頂きました。Iさんに頼ることで子ども達に安心安全な居場所を、私達に時間を確保することが出来、近くに頼れる存在が居ることで心にも余裕が出来ました。

今は夫の留学に伴い米国に来て1年が経ちます。こちらでも、子どもを早朝や放課後に預ける、シッターや住み込み人を雇うなどしながら勤務している家庭が多いです。

子育ても仕事も勉強も継続しやすい環境を整えたい方、ぜひとも保育サポーターバンクの利用をお勧めします。



お世話になったサポーターご夫妻と子どもたち

(K・Sさん)

サポーターさんからの声



現在、お子さんを保育園へお迎えに行き、自宅でお預かりして夕食を済ませるまでのサポートをしています。

自宅では、お子さんが安心して過ごせるように、保育士の経験を活かした配慮を心がけております。

ご両親が一日のお仕事を終えて、お子さんをお迎えに来た姿に触れる度に、私のサポートが微力ながらお役に立っていることを感じ、うれしく思います。

出会った頃は、まだ言葉も喃語に単語が少しかったお子さんが、今では昔話を覚えて、お話のキャッチボールができるようになり、日々の成長を感じています。

私の子どもも、中学生・高校生となりますが、お子さん達をきょうだいのように受け入れ、自然に接してくれることに感謝しています。

サポートに携わる中で、働き方の違いや家庭の状況に合わせ、お子さんとの関わり方も変える必要があると感じております。

これからも、御両親が安心して過ごし、お子さんが健やかに成長できる環境を用意して、少しでも皆様の手助けができればと思っています。

(Y・Tさん)

赤ちゃんの病気

～ホームケアのまとめ～

医学まめ知識

群馬県医師会理事 今泉友一

発熱

- 赤ちゃんは汗っかきで大人よりも脱水症状をおこしやすいので、いつもより多めにおっぱいやミルクを飲ませてください。
- 解熱剤は、38.5℃以上で、つらそうにしていたら使います。高熱でも元気そうなら使わなくてもいいです。一度使ったら、次に使うのは6時間以上あけましょう。

咳

- 水分補給をしてお喉を湿らせます。
- 鼻水が出ていたら鼻吸引器などで取り除いてください。

嘔吐

- 吐き気が落ちついてきたら、オーエスワンやアクアライトORSなどを少しずつ飲ませ

す。吐かなければおっぱいやミルクを与えてもいいです。

- 吐いた物で汚れたら、塩素系漂白剤を含ませた布でふいて消毒します。

下痢

- 水分を多く飲むから下痢が続くわけではありません。下痢で失われた水分と塩分を補う必要があります。
- おっぱいはそのまま続けてください。ミルクは薄める必要はありません。食べられるようになれば、これまで通りの離乳食を続けて、下痢で失われた栄養を補います。
- 下痢便はおむつがぶれの原因になります。おしりを丁寧に洗い、ワセリンなどを使っておしりを保護してください。

敬意と感謝を込めて!「大変お世話になりました」

元相談員 松山治子

皆さま、その後お変わりなくお元気で過しの事とお慶び申し上げます。皆さまにお世話になったままで恐縮ですが、経験・力量とも備わった、本多・能登両相談員に後を委ねて、昨年10月なかばに退任させて頂きました。

ここに今蘇る光景から想いの一端を述べさせて頂き敬意と感謝の言葉に代えさせて頂きます。平成24年6月。手探りで始めたホヤホヤのバンクにやってきた赤ちゃん。おくるみに包まれサポーターさんに抱っこされながらも小さな腫で、自分の状況を確認している様に感じました。それがいつの間にか年少さんになって支援室に元気な姿を見せてくれました。他人とは思えない不思議な感慨。

ご家族の皆さまとサポーターさんの愛がギュッとつまった、泣いたり笑ったり、かけがえのない4年に近い喜びの日々に思いを致した次第です。こうしている間も、サポートの現場はスタンバイOK?どうか気を付けて無理なさらさないでください。

素晴らしい皆さまお元気で、またお会いできる日を楽しみに。お幸せを祈りつつごきげんよう。さようなら。

支援相談員紹介

松山相談員からバトンタッチされた二人です。皆様のご理解とご支援があつてこそこの保育サポーターバンク。松山相談員同様、感謝と笑顔のサポートを心がけたいと……。よろしくお願いたします。

(本多悦子・能登圭子)

群馬県医師会 保育サポーターバンク

お問い合わせ

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町1-7-4 TEL.080-1115-4176(相談員直通)月～金曜日(祝日を除く)10:00～16:00
TEL.027-231-5311 FAX.027-231-7667 E-mail: hoiku@mail.gunma.med.or.jp